

2022年7月度 月次業績報告

【第48期 2022年3月～2023年2月】

株式会社ポプラ

■出店関連(※LP(ローソン・ポプラ)店舗を除く)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	累計
出店	1	5	3	2	3								14
閉店	4	3	2	2	1								12
期末店舗数	250	252	253	253	255								

■売上関連(※LP(ローソン・ポプラ)店舗を除く)

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
既存店※2	日商(千円)	154	160	160	162	163							
	前年比	99.8%	103.1%	107.7%	107.7%	101.6%							
	関東	146	154	151	155	152							
	近畿	214	222	220	224	229							
	中国	161	167	172	167	171							
	九州	112	115	112	116	115							
	客数(人)	304	325	327	341	334							
	前年比	96.5%	99.6%	107.2%	105.7%	99.5%							
	客単価(円)	507	493	489	475	487							
	前年比	103.4%	103.6%	100.5%	101.9%	102.2%							
全店	日商(千円)	165	172	173	171	172							
	前年比	108.2%	111.8%	117.9%	115.1%	108.2%							
	客数(人)	321	344	347	357	348							
	前年比	103.6%	107.6%	117.6%	113.9%	105.5%							
	客単価(円)	515	499	498	479	495							
前年比	104.4%	103.9%	100.2%	101.0%	102.5%								
売上高前年比	92.0%	107.5%	118.5%	115.5%	106.6%								

■参考数字(LP(ローソン・ポプラ)店舗を含む既存店売上前年比)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
LP店を含む	116.0%	102.9%	109.6%	109.8%	110.5%							
うちLP店のみ	117.6%	102.6%	103.8%	110.9%	107.4%							

■都道府県別店舗数(※LP(ローソン・ポプラ)店舗を除く)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
茨城県	3	3	3	3	3							
埼玉県	16	16	16	16	16							
千葉県	28	28	28	28	28							
東京都	35	37	38	36	37							
神奈川県	15	15	15	15	15							
富山県	0	0	0	0	0							
愛知県	0	0	0	0	0							
滋賀県	3	3	3	3	3							
京都府	5	5	4	4	4							
大阪府	25	23	23	23	23							
兵庫県	10	10	10	10	10							
鳥取県	5	5	5	5	5							
島根県	6	6	6	6	6							
岡山県	11	12	11	11	11							
広島県	32	34	36	37	39							
山口県	11	10	10	10	9							
愛媛県	1	1	1	1	1							
福岡県	31	31	31	32	32							
佐賀県	4	4	4	4	4							
長崎県	0	0	0	0	0							
熊本県	9	9	9	9	9							
大分県	0	0	0	0	0							
総店舗数※1	250	252	253	253	255	0	0	0	0	0	0	0

※1 「総店舗数」月末の店舗数

※2 「既存店」オープン日翌月から起算し、13ヶ月目以降の店舗

■ポプラグループ店舗数

ポプラ・生活彩家事業	250	252	253	253	255							
ローソン・ポプラ事業	111	110	111	110	109							
商品供給事業	40	38	42	42	41							
ドラッグ事業	3	3	3	3	3							
飲食事業	2	2	2	2	2							
グループ総店舗数	406	405	411	410	410	0	0	0	0	0	0	0

【7月度コメント】

7月は各種商品値上げ等の影響もあり客単価は102.2%、客数は第7波の急拡大で99.5%と減少、結果101.6%と前年を上回る結果となりました。
 ・立地別では第7波の影響が出てきているものの、ホテル・病院・学校立地では前年より大きく回復しています。
 ・米飯はおむすび・ポップ弁当・ライスイン弁当などの主力カテゴリーが前年を上回る結果となりました。
 ・お酒は外食回復の影響で前年割れとなり、特に構成比の高いビール系カテゴリーが低迷しました。
 ・カップ麺は値上げの影響もあり、販売数量はわずかに減少したものの、単価アップ効果で前年超える結果となりました。
 ・無人コンビニ「スマートセルフ」は広島地区を中心に新店を出店しており、店舗数は順調に増加しています。